

管内地域銀行の令和2年9月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、経費は減少したものの、資金利益や債券等関係損益の減少等により、前年同期に比べ13.08%の減益。
- 中間純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ17.37%の減益。

(単位：億円)

	30年9月期	元年9月期	2年9月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,631	6,788	6,427	▲360	▲5.31%
資金利益	5,637	5,448	5,321	▲127	▲2.34%
役務取引等利益	993	1,000	948	▲52	▲5.20%
債券等関係損益	▲119	237	61	▲175	▲74.17%
うち、債券等償却(※)	▲2	▲13	▲4	+8	+64.22%
経費(※)	▲4,397	▲4,391	▲4,344	+46	+1.06%
実質業務純益	2,234	2,396	2,083	▲313	▲13.08%
コア業務純益		2,159	2,021	▲137	▲6.37%
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)		1,996	1,904	▲92	▲4.60%
与信関係費用(※)	▲195	▲513	▲524	▲11	▲2.21%
株式等関係損益	416	310	351	+41	+13.22%
うち、株式等償却(※)	▲7	▲26	▲50	▲24	▲91.02%
中間純利益	1,869	1,610	1,330	▲279	▲17.37%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	30年9月期	元年9月期	2年9月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	105.4兆円	107.0兆円	116.2兆円	+9.1兆円	+8.57%
貸出金(末残)	79.2兆円	81.3兆円	84.9兆円	+3.5兆円	+4.38%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は2年3月期に比べ増加、不良債権比率も上昇。

	元年9月期	2年3月期	2年9月期	2年3月期比
不良債権額	12,540億円	12,858億円	13,357億円	+499億円
不良債権比率	1.52%	1.53%	1.55%	+0.02ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は国際統一基準行、国内基準行ともに2年3月期に比べ上昇。

(国際統一基準行：4行)

(国内基準行：18行)

	2年3月期	2年9月期	2年3月期比
総自己資本比率	13.17%	13.72%	+0.55ポイント
Tier1比率	12.37%	12.87%	+0.50ポイント
普通株式等Tier1比率	12.37%	12.87%	+0.50ポイント

	2年3月期	2年9月期	2年3月期比
自己資本比率	9.96%	10.23%	+0.27ポイント

(注1) 管内地域銀行の集計対象は22行(地方銀行13行、第二地方銀行8行及び埼玉りそな銀行)。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】
関東財務局理財部 金融監督第1課
TEL 048-600-1145